

ごあいさつ



第76回岩手芸術祭実行委員会
会長 柴田和子

芸術の秋を彩る岩手芸術祭がいよいよ開幕いたします。

県内最大の総合芸術祭である「岩手芸術祭」は、県民の文化芸術活動の成果を発表する場として、また、芸術を身近に鑑賞できる場として回を重ね、今年で第76回目を迎えることになりました。これまでの県民の皆様のご理解とご支援に対しまして、心から感謝申し上げます。

今年度の岩手芸術祭は、「ふるさと岩手 大発見 芸術の光ここに集めて」のテーマで、美術展、舞台公演、文芸祭などを県内各地で開催することにしております。

また、岩手芸術祭の開幕を飾る岩手芸術祭総合フェスティバルの開催とともに、昨年度と同様に、芸術体験イベントも同時期に開催するほか、来年1月には花巻地区でも芸術体験イベント、舞台公演、更には岩手芸術祭巡回美術展を開催する予定です。

是非、この機会に、多くの方々に岩手の文化芸術に触れていただきますようお願いいたします。

今年度の岩手芸術祭総合フェスティバルは、文化芸術の継承・創造と平和、そして岩手県政150年を祝う演目のプログラムで構成し、幅広いジャンルの県内の優れた文化芸術団体、個人等のご出演をいただき、県内最大の文化芸術の祭典に相応しい、多種多様なステージが繰り広げられます。

どうか最後までごゆっくりご鑑賞をいただき、温かいご声援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本事業の開催にあたり、ご尽力を賜りました関係者の皆様に心から感謝申し上げ、ご挨拶といたします。

主 催

岩手県 岩手県芸術文化協会 岩手県文化振興事業団
岩手日報社 IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ
岩手朝日テレビ エフエム岩手

後 援

盛岡市 N H K 盛岡放送局

協 力

記録撮影 岩手県写真連盟

企 画

岩手芸術祭総合フェスティバル企画運営委員会
構成・演出……………大森 健一(岩手県演劇協会)
演出補佐……………大沼 まゆみ(岩手県洋舞協会)
民俗芸能コーディネーター……藤沢 清美(岩手県民謡協会)
合唱コーディネーター………村松 玲子(岩手県合唱連盟)
及川 尚樹(岩手県合唱連盟)
舞台美術コーディネーター……小笠原 阜雄(岩手芸術祭美術展現代美術部門)
舞台監督……………近藤 英一
照明コーディネーター………佐藤 勝己(Kパフォーミングアーツ)

問い合わせ先

一般社団法人岩手県芸術文化協会 TEL▶019-626-1202

QRコードからアクセスすると、

公演のライブ配信をスマートフォン等でご覧になれます。



- 携帯電話の電源はお切りになるか、マナーモードにお切り替えください。
- 主催者の許可のない撮影・録音は禁止させて頂いております。
- 大ホール客席での飲食は禁止となります。



2023年10月7日 土曜日 開場▶12:35 開演▶13:00
トーサイクラシックホール岩手 大ホール
(岩手県民会館)

プログラム

司会／甲斐谷 望 (IBC 岩手放送アナウンサー)

テーマ：継承・創造・平和 一祝って、いわて

第1部

▼ 「合唱」

岩手県立盛岡第一高等学校音楽部

(1) 曲目／「僕のこと」 大森 元貴 作詞／作曲

(2) 出演者／岩手県立盛岡第一高等学校音楽部

県政150年の節目を迎え、若い世代が希望を持ちながら歩んでいく姿を私たちの音楽で表現します。第97回全国高校サッカー選手権大会のテーマソング「僕のこと」を53名で合唱。第74回全日本合唱コンクール東北支部大会金賞受賞校。

◆ピアノ伴奏／三上 淑矢

◆指揮／及川 尚樹

ダンスパフォーマー：関根 佳子（金田尚子舞踊研究所）

演目／「記憶の雨」

岩手県立盛岡第一高等学校3年。第31回こうべ全国洋舞コンクールモダンダンス ジュニア2部 第1位。

▼ 「モダンダンス」

金田尚子舞踊研究所／岩手県洋舞協会

演目／「白い花と鳥たちの祈り」

小中学生5名によるモダンダンス。令和5年度「第80回全国舞踊コンクール」現代舞踊第2部入選作品。やわらかい陽射しを浴びて咲く一輪の白い花。その花の薫りに誘われた鳥たちと歌い踊る様子を踊りで表現します。

出演者／高橋 莉凜（大新小学校4年）

奥村 杏貴（矢巾東小学校6年）

藤堂 あさひ（杜陵小学校6年）

三宅 由莉（岩手大学教育学部附属小学校6年）

ホール 美沙紀（岩手大学教育学部附属中学校1年）

▼ 三曲「八重奏」

岩手三曲協会

(1) 曲目／「Axis-Aクシス」 水川 寿也／作曲

創立80周年的節目を迎える岩手三曲協会が同協会創立記念として、箏、三絃、十七絃、尺八による総勢25名の編成で三曲の八重奏を演奏します。ジャズ、ロック調の現代的県政150年の御祝いに相応しい曲を力強く演奏します。

(2) 出演者／岩手三曲協会

ダンスパフォーマー：石田 智哉（スタジオDANCE ONE所属 新☆男塾）

演目／「導」

「新☆男塾」リーダー。体操・DANCEインストラクター。今年からソロダンサーとしての活動を展開している。

▼ 日本舞踊 長唄「桜絵巻」

岩手県邦舞協会

(1) 演目／長唄「桜絵巻」

(2) 出演者／水木 愛歌 水木 錦祥

桜花爛漫の春景色の中、歌舞伎の祖ともいわれる出雲の阿国にその姿を写し、咲き匂う桜にはなやぎ、盛りの花と戯れます。流麗な絵巻物を思わせる舞踊です。

▼ 北上市指定無形民俗文化財 鳥喰太神樂「獅子舞」「石駄舞」 鳥喰太神樂保存会

(1) 演目／「獅子舞」「石駄舞」

北上市二子町鳥喰地区に伝えられている芸能。太神樂（獅子舞）は悪魔退散・五穀豊穣・室内安全・息災延命の祈りの踊りです。石駄舞は昔の農作業が傭ばれる稻扱き・ひるす挽き・み吹きなど、そして年貢納めまでの一連の過程を大黒舞の調子に合わせて演ずる軽妙な踊りです。

(2) 出演者／鳥喰太神樂保存会

▼ 岩手県指定無形民俗文化財 春日流落合鹿踊 「除魔贊魂」「案山子踊り」 春日流落合鹿踊保存会

(1) 演目／「除魔贊魂」「案山子踊り」

案山子踊り（かかしおどり）は、野山を駆け回っていた鹿達が、里に下りてきた時、目にした案山子に驚き、仲立ち（群れの首領）、一狂、二狂（群れの二番手三番手）、女鹿が、案山子を恐れながら、危険なものを探り、安全とわかると、仲立ちが案山子を壊すという、動物の営みと人間との関わり方を表現している踊りです。

(2) 出演者／春日流落合鹿踊保存会

第2部

▼ 式典「感謝のセレモニー」

長年、芸術文化に尽力されてきた方々への感謝。

(1) 受賞者の紹介と感謝状贈呈

(2) 「芸術祭テーマ」優秀賞表彰

(3) 主催者挨拶 岩手芸術祭実行委員会 会長 柴田和子

(4) 挨拶 岩手県知事 達増拓也

感謝状受賞のみなさん

<美術部門>

■工芸部門／阿部 裕之さん

<舞台等部門>

■能楽部門／菅原 岩夫さん
■合唱部門／黒川 俊之さん
■民謡部門／菊池 ひろみさん

■華道部門／田中 真瞳さん
■日舞部門／水木 妙歌さん
■新舞踊部門／本館 有子さん

<芸芸部門>

■児童文学／藤原 成子さん
■俳句部門／名久井 清流さん

■短歌部門／伊藤 幸子さん
■川柳部門／中島 久光さん

芸術祭テーマ優秀作品

「ふるさと岩手 大発見 芸術の光 ここに集めて」

作者 卓地 明美さん（一関市）

伴奏／ギター＆アンサンブル「ざ・はなみち」（岩手県ギター協会）

第3部

▼ 声楽

阿部 泰洋

(1) 曲目1／G.ロッシーニ作曲 歌劇『セヴィリアの理髪師』より
「私は街の何でも屋」
G.ヴェルディ作曲 歌劇『ファルスタッフ』より
「夢か？まことか？」

出演者／阿部 泰洋

盛岡市出身のバリトン歌手。若手音楽家の飛躍の舞台である第76回全日本学生音楽コンクール全国大会声楽部門大学の部日本一。岩手県立不來方高等学校卒業で、現在は東京藝術大学大学院在学。

◆ピアノ伴奏／小松 桃

(2) 曲目2／「もみじ」 高野 辰之 作詞／岡野 貞一 作曲

出演者／阿部 泰洋 岩手県立盛岡第一高等学校音楽部

◆ピアノ伴奏／小松 桃 ◆指揮／及川 尚樹

▼ ピアノ演奏

西山 潤

(1) 曲目／「半音階的幻想曲とフーガ 二短調 BWV903」 J.S.バッハ 作曲

(2) 出演者／西山 潤

盛岡市出身。岩手大学教育学部附属中学校 卒業。第76回全日本学生音楽コンクール東京大会ピアノ中学部門第3位、全国大会入選。小中学校時代に盛岡ジュニアオーケストラに参加。ピアノを田口博子氏、佐藤彦大氏、一戸陽子氏、植田克己氏、現在は津田裕也氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属高等学校1年在学。

▼ ジャズ演奏

花巻リズムヤンガー

(1) 曲目1／「イン・ザ・ムード」

ジョー・ガーランド 作曲

曲目2／「A列車で行こう」

ビリー・ストレイホーン 作曲

曲目3／「星めぐりの歌」

宮沢 賢治 作詞／作曲

(2) 出演者／花巻リズムヤンガー

昭和21年に結成され、今年で77年になります。77年の間、先輩から後輩へ引き継がれて、OBも150人を超えています。現在も20代から60代のメンバーと一緒にジャズの演奏を楽しんでいます。今後も世代交代をしながら、90年、100年と続けていきたいとの思いで活動しています。令和5年度岩手県芸術文化協会表彰受賞団体。

▼ 吹奏楽演奏

岩手県吹奏楽連盟

(1) 曲目1／「March - Chagu - Chagu」 八木澤 教司 作曲
曲目2／「岩手ゆかりの行進曲メドレー」 八木澤 教司 編曲

(2) 出演者／盛岡市立下小路中学校吹奏楽部
岩手県立盛岡第二高等学校吹奏楽部
盛岡吹奏楽団

中学生から社会人までの編成による100人規模の吹奏楽の演奏。

◆指揮／皆川 洋祐（盛岡吹奏楽団常任指揮者）